



2013ジンギスDON! フェスタ

●目次●

主な議案のあらまし	2
議決結果	2
一般質問から	3～8
常任委員会の動き	9～11
インターネット中継開始	11
議長コラム・議会日誌・編集後記	12

「イエローバルーンリリース」

被災地への思いを乗せ
今年も菜の花色の黄色い風船が
大空を舞いました

2013.8.1
No.6

議会開会中

第2回定例会

主な議案のあらまし

平成25年第2回定例会は、6月12日から21日までの10日間の日程で開催しました。

本定例会では、市政全般について12人の議員から一般質問が行われたほか、平成25年度各会計補正予算、条例の制定・改正など議案30件が審議されました。

◎平成25年度各会計補正予算

一般会計は、補正予算(第2号)、(第3号)において、5億1、580万8千円を補正し、総額207億4、718万4千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費は、国の平成24年度補正予算第1号に計上された緊急経済対策の一環として創設された地域の元氣臨時交付金を活用して行う公共施設・学校施設の改修事業や道路・公園・河川等の改修事業等を実施する経費5億6、083万5千円、除雪用車両の整備のための経費3、077万3千円などです。

また、職員の給与の削減に伴い、一般会計において1億1、682万9千円の減額を行ったほか、関連して各特別会計、事業会計予算においても減額を行いました。

◎条例の制定・改正

○職員の給与の臨時特例に関する条例 ○滝川市税条例の一部を改正する条例 ○滝川市商工業振興条例の一部を改正する条例など5件の条例を制定・改正しました。

また、ごみ処理手数料の改定に伴う滝川市廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例は、厚生常任委員会へ付託し、議会閉会中の継続審査となりました。

◎そのほか可決された議案等

○工事請負契約の締結について(滝川第三小学校改築A工事)ほか17件を可決しました。

平成25年第2回定例会議決結果

◎ 全会一致可決 ○ 賛成多数可決 ☆ 報告済
□ 全会一致推薦 ◆ 常任委員会付託

●補正予算

◎	平成25年度滝川市一般会計補正予算(第2号)
○	平成25年度滝川市一般会計補正予算(第3号) 〈反対 渡辺精郎 清水〉
○	平成25年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 〈反対 渡辺精郎 清水〉
○	平成25年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算(第1号) 〈反対 渡辺精郎 清水〉
○	平成25年度滝川市介護保険特別会計補正予算(第1号) 〈反対 渡辺精郎 清水〉
○	平成25年度滝川市下水道事業会計補正予算(第1号) 〈反対 渡辺精郎 清水〉
○	平成25年度滝川市病院事業会計補正予算(第1号) 〈反対 渡辺精郎 清水 関藤〉

●条例

○	職員の給与の臨時特例に関する条例 〈反対 渡辺精郎 清水〉
◎	滝川市税条例の一部を改正する条例
◎	滝川市水泳プール条例の一部を改正する条例
◆	滝川市廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例
◎	滝川市商工業振興条例の一部を改正する条例
◎	滝川市営住宅条例の一部を改正する条例

●その他

◎	工事請負契約の締結について(滝川第三小学校改築A工事)
◎	工事請負契約の締結について(滝川第三小学校改築B工事)
◎	工事請負契約の締結について(滝川第三小学校改築電気設備工事)
◎	工事請負契約の締結について(滝川第三小学校改築機械設備工事)
◎	不動産の取得について
◎	滝川市土地開発公社の解散について
◎	債権の放棄について
◎	第三セクター等改革推進債の起債に係る許可の申請について
◎	議員の派遣について
□	人権擁護委員候補者の推薦について
☆	一般社団法人滝川国際交流協会の経営状況について
☆	滝川市土地開発公社の経営状況について
☆	財団法人滝川市生涯学習振興会の経営状況について
☆	専決処分について(損害賠償額の決定)
☆	専決処分について(損害賠償額の決定)
☆	専決処分について(調停の申立て等)
☆	監査報告について
☆	例月現金出納検査報告について

※議決結果の概要については、滝川市公式ホームページ内の滝川市議会のページでもご覧いただけます。

第2回例会
一般質問から



公明党
三上 裕久
議員

パークゴルフ場の造成について

質問 パークゴルフ場の新設・造成の必要性について、市民の声をどのように把握されているのか。

答弁 平成15年にパークゴルフ協会、レクリエーション協会など5団体から、今年もパークゴルフ協会、老人クラブ連合会など4団体、更には、まちづくり懇談会においても、市民の健康づくり、大会誘致のできるパークゴルフ場の建設要望をいただいています。

質問 市長は、今でもまち自慢のパークゴルフ場の新設が必要であると考えているのか。

答弁 市長就任前・就任後においても、各種団体からの声をいただいています。その中で、パークゴルフを通して市民の健康増進を図りたいと考えています。ただし、運営においては、非常に厳しいと

いう認識もあります。

質問 市民の健康増進が目的ならば、既存施設の整備充実を図るべきではないのか。また、医療費の面から費用対効果はどうなのか。

答弁 既存施設では、新たな整備、拡張が難しく、また、維持管理体制の面から経費が増加しています。医療費の削減効果は試算をしていますが、パークゴルフが健康増進に有効だと考えています。

市発注の公共工事における労務単価について

質問 国・道の公共工事設計労務単価の上昇を受けて本市の対応は。

答弁 国の労務単価を採用し、道の取り扱いに準じていきます。

質問 労務単価の大幅上昇を受け、技能労働者の適切な賃金水準確保のために、受注している元請けや下請けに要請すべきでは。

答弁 国では、建設業団体等に対して適切な賃金水準の確保、社会保険の加入などの要請を行っていますし、市としても国の要請に応え、若年者の雇用など職場環境を整えてもらえるようPRに努めていきます。



市民クラブ
大谷久美子
議員

緊急時におけるショートステイについて

質問 本市においては緑寿園とナイスケアすずかけで対応しているが、満杯で利用できないことが多いと聞いている。状況はどのようなになっているのか。

答弁 空き状況、期間、利用が重なる時期など、不確定な要素を含んでいることから利用できないこともありますが、近隣市町の施設を含めた中で安定的なサービスの利用は可能と考えています。市内では2か所のショートステイのほかに、栄町に通所・訪問・宿泊を併せた小規模多機能型の居宅介護事業所があり、今年度、更にもう1か所設置予定で、施設に利用者も登録することで急な宿泊利用も可能となります。

次なる学校改修計画について

質問 開西中学校・第三小学校に続いて、次の学校改修はどのような

に考えているのか。

答弁 次の学校施設の整備については、「滝川市小・中学校施設整備方針」滝川市学校給食施設整備方針に基づき、西小学校の大規模改修と親子共同調理場の整備を計画していますが、今後の財政状況等を勘案しながら進めていきたいと考えています。

学校図書館司書の配置について

質問 文部科学省では、学校図書館関係職員を2校に1名配置可能な予算を措置しているが、本市の学校図書館司書の状況と配置についての考えは。

答弁 市内の小中学校に司書の配置はしていませんが、市立図書館との連携により、子どもの読書活動支援事業を実施し、学級文庫の巡回貸し出し(年3〜4回)や、学校からの要望があれば市立図書館の司書が訪問し、学校図書館の書架の整理や、特別展示を随時行つて、学校で対応できない部分のサポートを行っています。読書活動の進捗状況を把握し、学校現場の意見を聞きながら検討を進めていきます。



市民の声連合
渡辺 精郎
議員

生活保護費不正事件の判決に前
田市長が控訴する事情は何か

質問 札幌地裁判決後、市長は、判決の結果が残念とか、記者会見では職員の弁済額が大きく遺憾など述べ、4月4日の市議会臨時会で札幌高裁への控訴の提案となった。市長選挙時の認識と、控訴に踏み切って刷新市長から本当の被告になり住民側と対立するという変身の事情を市民に説明願う。

答弁 訴訟では、市長に就任した時点で被告は滝川市長前田康吉です。私は、オール市役所の感覚で一体となった組織力が必要であると訴え、刷新と表明しました。控訴したのは、札幌地裁の判決で、支給決定の違法性や職員の故意または重大な過失があったとされた内容に一部承服できない部分があったからです。住民側と対立する変身だとは思っていません。

質問 市側は裁判で、全て医師の指示に従ったと弁解しているが、

北大病院は「KKR札幌医療センター」で治療している。北大病院では食事の注意点や風邪薬を出す程度で、医療的には何もしていない。本人は来るのが生きがい。」と証言している。KKR札幌医療センターでは「毎日の注射は本人の希望で打っているが、医学的にはその必要がない。生活保護制度上、頻回受診に当たるかといえば頻回になる。」と証言している。これを当時の市長・副市長に伝えていないとすれば職務怠慢ではないか。

答弁 控訴審でこれから争われるところであり、コメントする立場ではありません。

質問 平成18年度の決算審査特別委員会で生活保護費が1億3、000万円多かったとか、平成19年度予算に1億1、000万円を詐欺事件の主犯夫婦のために計上したと言われているが、市長や副市長が知らなかったで済むのか。

答弁 市長等に対し、全ての予算・決算について詳細な説明があるわけではありません。また、詐欺事件の主犯夫婦に必要な1億1、000万円を予算計上したと答弁したことはありません。



市民クラブ
窪之内美知代
議員

緑寿園の早期建て替えに向けた
事業団との協議状況と見通し

質問 事業団への施設譲渡協議における緑寿園建て替えの位置付けは。施設の老朽化や市民ニーズからも早期建て替えは待ったなしで、譲渡協議と同時進行で推進すべき。また、施設整備の財源確保における市と事業団との違いを伺う。

答弁 安定的サービスの提供や福祉施策を推進する上で、建て替えは優先課題であると理解、認識しています。新体制となった事業団と精力的に協議を行い、事業団による計画的建て替えを進めてもらえよう合意形成したいと考えています。建て替え費用は、公共であれば地方債、民間であれば福祉医療機構の低利融資制度があり、民間の方が若干有利と言えます。

市民後見人の導入を

質問 一般市民を養成して判断力が不十分な人の財産管理等の業務

を行う市民後見人の導入に向け、前向きに検討すべき。

答弁 成年後見制度の相談が年々増えてきていることから、市民後見人の担う役割も大きいものと考えています。市民後見人の養成には、国が示した基礎研修、実践研修、実習を受けるなどのハードルがありますが、北海道や関係機関と十分情報交換や連携を図り、体制づくりや準備を進め、養成講座の実施に向け鋭意検討します。

男女共同参画計画に沿った取り組みと推進体制の整備について

質問 今後10年間の男女共同参画計画が策定されたが、当面は何を重点に取り組むのか。また、総合的な推進体制整備のスケジュールと庁内及び全体の組織構成は。

答弁 参画計画を推進していくに当たって必要な事項を定めた推進計画を今年度中に作成します。これと並行して、市の担当部署が中心となって男女共同参画週間等の啓発活動や、女性への暴力等の根絶についての認識を浸透させるための講演会、研修会などを実施していきます。



新政会
渡邊 龍之
議員

暴力団排除条例の制定について

質問 暴力団排除条例の制定に向けての検討内容及び制定時期は。

答弁 北海道条例の基本理念を踏まえ、自治体の取り巻く状況、自治体ならではの規定等について検討作業を行っており、来年4月から施行ができるよう条例の制定に向け取り進めています。

広域行政について

質問 広域行政における負担金の算出基準及び見直しの考え方は。

答弁 一部事務組合や広域連合で定める負担金の算出方法は、均等割や人口割のほか、共同事務の目的や性格を踏まえた計算により算出されています。組合や事業別で構成市町の変更が生じる場合には、負担金の算出方法を含め協議を要しますが、現状においては効率的な運営を図り、構成市町の負担金総額の縮減に努めることが必要と考えています。

農業施策について

質問 農業施策を深化し、取り組みを鮮明にした対策をすべきでは。

答弁 これまでも国の施策を活用し農業経営の安定化に努めてきましたが、特に将来の本市農業を担う人材育成が喫緊の課題であることから、「農業後継者」「新規就農者」「農業生産法人」の育成・確保を三本柱として本市農業の振興を推進するとともに、基盤整備事業についても予算確保に努め、市単独事業を含め農地の排水整備を支援していきます。

滝川警察署の建て替えについて

質問 北海道への滝川警察署建て替え要請等、本市の取り組みは。

答弁 現在の警察署庁舎は築50年を超えており、北海道の財政状況が厳しいことから建て替え計画はあるものの、具体的な時期は示されていません。市、市議会、関係機関等、地域の要望や後押しが早期建て替えの実現の一助になることから、実現に向け行動の形態やタイミング等について滝川警察署とも相談していきます。



公明党
堀 重雄
議員

街路灯補助事業について

質問 街路灯補助について、各町内会の申請状況は。

答弁 各町内会からの設置要望数は531灯ありましたが、予算の制約もあり、現地を確認して353灯を補助対象として選定しました。選定から外れた町内会には、個別に説明をして理解をしていたのだいたところでした。

質問 費用対効果の面からも、申請に100%応えるべきでは。

答弁 今年度は予算を組むことができませんでしたが、今後もLEDへの交換に対し、町連協とも相談し検討していきます。

質問 街路灯用ポールの老朽化に伴い、撤去が必要になっている箇所が出てきているが取り組みは。

答弁 現在約1,300本の街路灯用ポールがありますが、撤去に對して補助基本額5万円、補助率50%で対応しているところです。街路灯用ポールは撤去費用

が高く、町内会にとって負担が大きいです。市で費用を見るべきでは。

答弁 今後、大きな課題として検討します。

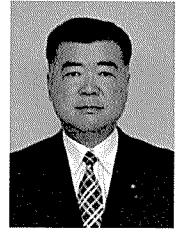
ワクチン接種について

質問 全体的なワクチン接種の状況を伺う。

答弁 定期予防接種については、平成24年度は7種類、今年度3種類が増え、計10種類となりました。乳幼児7種類、学童期3種類、高齢者1種類で、接種率は乳幼児が90〜95%、学童期が78〜86%、高齢者が42%となっています。

質問 ワクチン接種に伴う一般的な副作用と子宮頸がんワクチン接種による副作用の現状は。

答弁 一般的な副作用としては発熱、はれ、痛みなどがあります。子宮頸がんワクチンでは、そのほかに失神、けいれん、関節痛などがあります。子宮頸がんワクチンによる副作用としては、これまでに864万回の接種に対し1,968件の副作用の報告があり、このうち重篤とされるのは106件で、10万人に1人の割合となっています。



市民クラブ
柴田 文男
議員

再任用制度の導入方針について

質問 国の方針に従い各自治体で導入が検討されている。本市における導入の是非と民間に再就職する場合の年齢制限について伺う。

答弁 現行の制度を基本に導入を前提として検討しています。今後、再任用職員の処遇や配置、定数の問題などについて更に検討を進めたいと考えています。民間への再就職については、市民の誤解を招かないよう、適切に対応していきます。

直下型地震対策について

質問 確率が低いとはいえども安心はできない。本市を含む増毛山地東縁断層帯の地震発生確率は。

答弁 同断層帯の今後30年以内のマグニチュード7・8程度の地震発生確率は0・6%以下ですが、阪神淡路や新潟中越の大地震は同断層帯と同程度の発生確率であったことから、今後とも防災対策を

しっかりと進めていきます。

中心市街地の活性化について

質問 二核一軸の一翼を担う駅前再開発ビルの現状と今後の見通しについて伺う。

答弁 株式譲渡による登記の変更手続きは終了したようですが、市に対して未だ新たな経営陣からの話はなく、注視していくしかないのが現状です。たきかわホールは市が区分所有していることから、今後、ビルからの提案について十分協議を進めていきたいと考えています。

総合福祉センターの機能確保について

質問 総合福祉センターの廃止について、一部の機能は都市機能として中心市街地周辺に必要ではないか。

答弁 教育委員会としても、生涯学習の中核機能は街なかにとの思いはあります。一方で公共施設全体のあり方を市役所内部で検討しており、財政問題もありますが、しっかりと生涯学習機能の確保に努めたいと考えています。



新政会
関藤 龍也
議員

人口減と高齢化について

質問 人口減少への対応と高齢者が暮らしやすい都市づくりをどのように進めるのか見解を伺う。

答弁 少子高齢化に対応しながら、まちの活力を維持し、発展できるようにまちづくりを進めるため、総合計画や都市計画マスタープランに基づき、コンパクトシティの実現等を目指します。また、人口減対策としての外国人労働者の受け入れについては、今後視野に入るべき検討課題であると考えます。このまま地域の衰退を招かないよう、少しでも人口減少に歯止めをかけ、広域的連携を図りながら魅力あるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

観光行政について

質問 本市の観光行政の課題は何か伺う。

答弁 本市の観光施策の課題は、日帰り客中心の通過型観光から宿

泊客を増やし着地型観光へいかに転換していくかで、それには滝川の観光資源をいかに見出すかが必要で、他市町村の観光と組み合わせ、宿泊は滝川市内へという形を作りたいと考えています。7月には「観光戦略会議」を観光協会で立ち上げ、宿泊客誘致など地域経済への波及、拡大を考えています。

道徳教育について

質問 道徳教育の教科化について考えを伺う。

答弁 現在、道徳教育は「道徳の時間を要として学校教育活動全体を通じて行うもの」としており、教科化については、その位置付けの検討や評価に関する考え方、指導者の研修の充実等多くの課題があると考えられます。

質問 道徳教育の評価方法についての考えを伺う。

答弁 道徳教育は、教師が児童生徒の人としての成長を見守り、それを勇気づける働きを持つもので、教師と児童生徒の人的ふれあいや共感的な理解から行われることが大切で、現在は数値などによる評価は行わないものとしています。



新政会
坂井 英明
議員

中心市街地活性化基本計画について

質問 計画の認定期間を終え、今後のまちづくりについて伺う。

答弁 計画は、中心市街地への機能集積、街なか居住の推進、市民活動の活性化、賑わいの創出を目指したもので、概ね計画どおり事業の推進が図られたと考えますが、総合的には道半ばという状況です。商業機能のあり方については、中心部における事業の維持が重要であり、郊外店との共存共栄が重要になってくると思います。今後は市民の声を十分に聞き、市独自の計画を作成したいと考えています。

再生可能エネルギーについて

質問 今後の活用・導入について伺う。

答弁 メガソーラー発電のほか、風力、バイオマスの利用などの事業化の可能性について調査を進めています。また、地元の企業自ら

が事業参入できるきっかけづくりを進めており、地元経済に波及効果のある導入推進を行っていきまします。中でも風力発電については、誘致を進めるべく取り組んでいます。

パークゴルフ場の運営について

質問 来場者の予測、また、他の施設・団体との連携について伺う。

答弁 市内の潜在パークゴルフ人口は、各種統計データを基に約4千人と推定され、来場者は年間3万4,810人と予測しています。また、パークゴルフ協会とは公式大会の誘致、初心者指導などで、滝川ふれ愛の里とは大会時の表彰式、入浴とのセット料金、昼食提供、宿泊などでの連携を考えています。

質問 既存のパークゴルフ場は集約していくとの計画だが、既存の場所ですべてプレーしている市民を切り捨てることにならないのか。

答弁 既存のパークゴルフ場については、利用状況、管理体制も踏まえ、利用者・団体の皆さんからの意見も伺う中で検討していきたいと考えています。



市民クラブ
木下八重子
議員

江部乙支所機能の充実について

質問 江部乙地区の振興と活性化を推進するためには、支所機能の充実が必要と考えるが市長の考えを伺う。

答弁 江部乙地区の人口の減少に伴い、事務取扱件数の減少に加え、事務のOA化や指定管理者制度の導入などで職員の削減を行いながらも、支所機能を維持するために必要な体制をとってきました。今後においても、地区住民の皆さんにご不便をかけないよう体制を検討していきたいと考えています。

丸加高原健康の郷の位置付けについて

質問 伝習館ほか2館については、7月から民間事業者を公募することだが、どのような事業者の活用があるのか伺う。

答弁 事業の継続性、持続性を重視し、丸加高原の自然環境に合致した地域振興につながる事業や利

用方法であり、施設を適正に維持管理するとともに有効に活用していただける方を幅広く募りたいと考えています。

国際田園都市実現に向けて

質問 江部乙地区には豊かな自然と農村景観があり、著名な文化人もいる。市長が目指す「世界に誇れる国際田園都市」を実現できるステージは江部乙地区において他にはないと言えるのではないかと市長の考えを伺う。

答弁 江部乙地区は日本国内のみならず、世界に向けて情報発信できる資源を多数持ち合わせた可能性の高い地域だと認識しており、引き続き、官民一体となって取り組んでいきたいと考えています。

公営住宅の建て替えについて

質問 江部乙江南団地の建て替えを前倒しする考えはないのか伺う。

答弁 公営住宅の建て替えは、建設年度の古い団地から順次進めています。早期建て替えを図るために、一戸当たりの単価を下げるなどの検討や団地の統廃合を含め、現在計画の見直しを行っています。



新政会
山口 清悦
議員

定住自立圏構想について

質問 定住自立圏構想における国の変更点、北海道の現状、中空知の進捗状況、今後の方向性とタイムリミットについて、また、市長の判断について伺う。

答弁 平成25年度から中心市の要件として多自然居住拠点都市が新たに追加され、道内では富良野市、伊達市、北見市が対象となります。道内で要件を満たす市は18市、そのうち中心市宣言済みの市は9市です。72市町村が定住自立圏を形成済みで、道内自治体の4割に当たります。中空知圏域においては、

昨年5月から勉強会を立ち上げて、制度理解と共通認識を図っており、5市5町の枠組みを基本に検討中です。今後は住民理解を得るとともに各市町議員を対象としたセミナーも実施予定です。タイムリミットは、次回国勢調査が行われる平成27年が一つの目途と考えます。将来的に人口及び交付税の減少が

考えられる一方で、積極的な広域連携の取り組みに対しては国の支援が見込まれることから、できるだけ早期に実現するように最大限努力したいと思います。

質問 中心市を砂川市との複眼型と考える理由と国の財政措置を具体的に説明願う。また、非宣言時のデメリットを考える時、5市5町にこだわらず進めるべきと考えるが、市長の見解を求める。

中心市宣言の可否によるメリット、デメリット等を勘案し、最終的には市長としての賢明な判断を期待する。

答弁 医療、交通、産業の結びつきや経済・通勤圏の実態を踏まえると、5市5町で進める場合に砂川市との複眼型が最善と考えています。また、交付税措置は原則、中心市が4、000万円、構成市町が1、000万円の上限額ですが、参加市町数や面積に応じて上乗せもあり、各省庁でも様々な財政支援が新設されています。これまでの経過や広域行政の歴史などを総合的に考え、現時点ではあくまでも5市5町で共通理解を得るよう努力したいと思います。



日本共産党
清水 雅人
議員

市長の記者会見をインターネットで公開を

質問 市長の記者会見、記者発表について、インターネットで画像や記録を配信すべき。

答弁 本市では、毎月1回、報道機関6社を対象に定例記者懇談会を開催しています。現在、北海道、札幌市など13自治体が公式ホームページで記者会見の議事録などを掲載していますが、必要と判断される場合は今後検討します。

委託・指定管理の労務単価引き上げと賃金増の取り組みを

質問 北海道や札幌市では清掃業務の時給を75円から100円上げましたが、本市の状況と受注企業に対して、どのような要請をしているのか伺う。

答弁 本市では、最低賃金法等により賃金を設定しており、北海道や札幌市が採用している国土交通省の単価とほぼ一致しています。

また、労働保険料を含めて積算していることもあり、受注者に対して特段の要請はしていません。

新パークゴルフ場には賛成だが、既存施設は市管理で存続を

質問 既存パークゴルフ場を残さなければパークゴルフ難民が生まれることを危惧する。管理の多くをボランティアに依存していることを踏まえ、市の管理で残すべき。

答弁 既存の施設については、管理団体、利用者の皆さんからのご意見も伺い検討していきます。

図書館の新聞活用拡大のためデータベースの導入を

質問 新聞は保管しているが、検索ができないので利用が限られる。データベース導入で、新聞の活用を飛躍的に向上させるべき。

答弁 市立図書館では、北海道新聞のみ原紙を保存していますが、情報図書館として利用者の問い合わせに迅速に対応し、新たな利用者の発掘につながることも期待されることから、他の図書館の導入状況等を踏まえながら検討していきます。

常任委員会の動き

総務文教常任委員会

◆委員

委員長 大谷久美子

副委員長 井上 正雄

委員 渡辺 精郎 水口 典一

渡邊 龍之 柴田 文男

◆まち自慢のパークゴルフ場建設について

市民の皆様から要望されていたパークゴルフ場の基本運営計画が示されました。なお、昨年度10万円の調査経費、今年度は714万円の施設設計委託料が予算化されています。

○基本運営計画の概要

本市には既存のパークゴルフ場が8か所ありますが、コース数が少なく、芝等の管理が十分ではないために、充実したコースの整備を望む声が上がっていました。本市には、平成橋の上下流に広がる石狩川河川敷に、平成14年に休止した市民ゴルフ場の「つつじコース」があり、現在は公園として必

要な芝刈りを滝川振興公社に委託しています。この芝を活用すること

で、新規に造成するよりも事業費を抑えたパークゴルフ場への転用が可能です。石狩川河川敷の広さを十分活用し、8コース(72ホール)と無料コース2コース(18ホール)の造成を計画しています。72

ホールを造成することで、質の高いコースを維持するために定期的にコースを休ませ芝の養生をさせることができ、各種大会に36ホールを使用しても、一般利用者には残りのコースで通常通りの利用が可能です。本市は交通の便も良く、外客誘致も期待でき、大会開催による地域の活性化も期待されます。

事業費は、コース造成費・コース備品費・養生管理費等で約9、100万円、事業費財源として交付金3、320万円、起債2、988万円、一般財源2、797万円と試算しています。整備スケジュールは、平成25年度補助要望・実施計画、26年度第1期工事、27年度第2期工事、28年度8月オープン

の予定です。利用料金については一定のコース品質を保つ、運営費をまかなえる、市民の利用に対し還元を図る等を考慮し、更に検討しています。

パークゴルフは、年齢や体力による差が大きく出ないので、誰にでも楽しむことができ、健康の増進や、ストレス解消、コミュニケーションづくりにも最適とされています。

○議会での多様な質疑

本会議や本委員会では、「新規に造成しないで、既存のパークゴルフ場を整備すべき」「こんなに大きなパークゴルフ場が必要なのか」「運営は大丈夫なのか」等たくさんの質問が出されました。パークゴルフ協会や市老連の方等の意見を聞きながら進めてきましたが、市民の皆様にも説明と意見を聞く場が設けられますので、是非参加して意見を述べてください。



◆滝川第三小学校改築事業について

開西中学校に続いて滝川第三小学校の改築事業に着手しました。

平成23年度に保護者、地域代表者等からなる滝川第三小学校改築検討市民会議を立ち上げ、改築について検討してきました。

廊下の壁を取り払った自由な学習環境(オープン教室)、ピンネシリが眺望できるバルコニー、子ども達の憩いの場「デン」の設置、防犯対策として職員室・校長室を一階に配置し、玄関はオートロック、防災対策としては災害時の避難場所として備蓄倉庫、マンホールトイレ・カマドベンチ、防災水槽、外部電源設備、太陽光蓄電池を設置します。子ども達の原風景として残る校舎、子ども達のアトワークを取り込んだ校舎の実現、旧校舎の記憶を残す等細かい配慮がされています。工事費は親子共同調理場、解体工事、外構工事等を含めて約24億5、400万円で、国庫補助金7億8、000万円、起債13億8、400万円、一般財源2億8、900万円で、本年5月にプール解体、6月工事着工、平成27年3月に校舎等完成となり、4月から供用開始、10月に旧校舎解体、グラウンド整備等が終了し、工事完了予定となっています。

経済建設常任委員会

◆委員

委員長 山口 清悦
副委員長 山本 正信
委員 坂井 英明 小野 保之
三上 裕久 荒木 文一

◆第24回経済建設常任委員会

平成25年5月14日に第24回常任委員会を開催しました。所管課からの主な報告事項等は次のとおりです。

○橋梁長寿命化修繕計画の策定について

国土交通省の社会資本整備総合交付金を活用して各橋梁の損傷状態調査を実施し、橋の健全度に基づき「滝川市の橋梁長寿命化修繕計画」を策定した。

【計画対象橋梁】

滝川市の管理橋梁126橋を対象

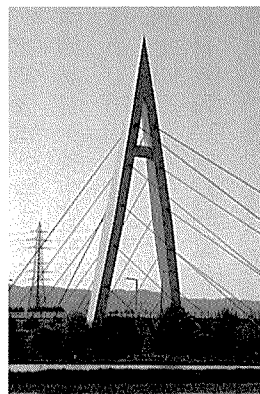
1級市道に架かる橋梁	50橋
2級市道に架かる橋梁	46橋
その他に架かる橋梁	30橋

【計画期間】

平成26年から10年間
修繕対策橋梁数36橋

【概算予算】

2億7,200万円
交付金は6割を予定



▲ふれあい橋

○工場等の立地に対する助成制度の改正について

企業誘致及び地場企業の活性化を進めるために滝川市商工業振興条例を改正する。

【対象要件の緩和】

移設・増設投資額500万円、新設1,000万円以上に緩和
新設雇用人数1名以上に緩和
【対象業種の拡大】

新たに植物工場、新エネルギー関連産業、流通関連産業を追加

【支援額・支援メニューの拡大】

設備投資額の10%を支援、用地取得・操業に対する助成を新設

【交付時期の早期化】

操業開始後3か月後に申請・交付に前倒し

○パークゴルフ場の整備について

基本運営計画案及び実施設計案

務について、教育部及び建設部から説明があった。

◆第25回経済建設常任委員会

平成25年5月30日に第25回常任委員会を開催しました。所管課からの主な報告事項等は次のとおりです。

○平成25年度一般会計補正予算について

・環境保全型農業直接支援対策事業

化学肥料・合成農薬を原則5割以上低減し、地球温暖化防止や生物多様性保全に取り組む農業者に対して支援する。

・滝川ふれ愛の里浴場大型空調機改修等工事

実施設計委託料 48万円
工事請負費 4,777万円

・丸加高原専用水道江部乙第3ポンプ場改修等工事

ポンプ場の警報設定器、受水槽水位計の更新及び地下壁防止工事並びに配水池の電極、配電盤の更新。

○滝川第三小学校改築工事請負契約の締結について

【工事の概要】

鉄筋コンクリート造・一部鉄骨

鉄筋コンクリート造3階建て
述べ面積 7,320.93

平方メートル

工事完成期限

平成27年8月31日

【契約①】改築A工事

契約の相手方 株式会社泰進建設滝川本店

契約金額

6億585万円

【契約②】改築B工事

契約の相手方 株式会社中山組滝川支社

契約金額

9億8,574万円

【契約③】電気設備工事

契約の相手方 末廣屋・星野・西保経常建設共同企業体

契約金額

2億2,995万円

【契約④】機械設備工事

契約の相手方 道央ハウジング・サンプラント・タスク経常共同企業体

契約金額

3億9,795万円



▲滝川第三小学校完成予想図

厚生常任委員会

◆委員

委員長 関藤 龍也

副委員長 堀 重雄

委員 清水 雅人 木下八重子

田村 勇 窪之内美知代

◆滝川市社会福祉事業団との懇談会の実施

たきかわ市議会だより第4号(平成25年2月1日)で、昭和51年度からの滝川市社会福祉事業団の経営状況等をお知らせしましたが、今年度、同事業団は新理事を迎え、新たな経営方針が示されたところです。同事業団は、福祉、障害者就労支援、保育所など本市にとって重要な役割を果たしていることから、本委員会として、5月16日に委員と他7名の議員で新体制となった事業団のあいがも育成鶏舎、処理施設の視察と理事等との懇談会を実施しました。今後は、市民の財



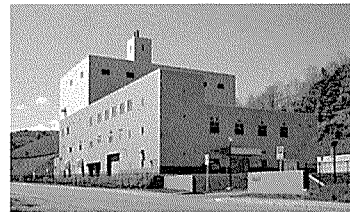
▲社会福祉事業団との懇談会

産である施設の充実と譲渡の可否を含め議論されることとなりますが、本委員会としてその役割と責任をもって市民の皆様にご報告してまいります。

◆ごみ処理手数料の改定について

ごみ処理手数料の改定について

数料の改定に伴う滝川市廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例が第2回定例会で提案され、本委員会に付託され審査を進めています。



▲中・北空知エネクリーン

提案の理由・背景として、①平成15年度から導入された従量制によるごみ処理手数料の徴収と分別収集区分の細分化は、ごみの排出抑制と資源化の推進に一定の効果をあげてきましたが、近年ではごみ排出量は微増であり、処理単価の増大等により、ごみ処理経費は増加傾向にあること、②滝川市廃棄物減量等推進審議会から、ごみ処理コストに対する市民負担割合について適正な水準へと近づける

べきとの答申が出されたこと、③本年4月から一般廃棄物焼却処理施設「中・北空知エネクリーン」が、稼動を開始したことで、ごみ処理経費の見通しが確立したこと、をあげています。

今後は、市が実施した説明会で市民の皆様のご意見等も参考とし、先進事例の調査等も実施しながら慎重な審査を行ってまいります。

◆食育ファーム事業について

食育ファーム事業は、地域に根ざし、暮らしに学ぶを基本とし、農業の体験と農業者との交流を通して子どもの「豊かな心」「社会性」「主体性」などを育み、食を大切にする心を育て、適切な食生活の実現を目指すことを目的としています。この事業により、朝食の欠食率が改善され、食べ物を大切にする心が育つといった保護者からの感想をいただいています。

今年度も、

滝川市食育推進市民会議・滝川おもしろ食育塾の協賛のもと、8月



▲食育ファーム事業

1日に食育ファーム親子事前学習会が開催され、地産地消・食の大切さを学習し、8月7日から9日まで食育ファームが実施されます。農家や滝川ふれ愛の里に宿泊しながら、農作業や調理などを体験してもらうことが企画されています。朝食を食べる子どもと食べない子どもでは、集中力に差があることは医学的にも証明されていることから、本委員会は、この事業を後押ししています。

インターネット中継開始

6月の第2回定例会から本会議のインターネット中継を開始しました。

本会議開会中のライブ中継はもちろん、本会議終了後は録画映像をご覧いただくこともできます。

「ご自宅のパソコンやスマートフォンで、いつでも本会議の様子をご覧いただけます。」

市公式ホームページから「滝川市議会」のページ、「市議会インターネット中継」のページへとお進みください。

開かれた議会をめざして

開かれた議会をめざして



昨年の5月に「市議会だより」第1号を発行以来、議会改革特別委員会で「インターネット中継」について検討を重ねてまいりましたが、このたび第2回定例会より実施する運びとなりました。

今定例会から、リアルタイムで市民の皆様にも本会議をご覧いただくことのできる環境となり、4日間の本会議開催でアクセス数も600件を超えて、多くの反響をいただきました。市民の皆様には、ぜひお役立て、ご活用いただければ幸いです。

今後とも、さらに開かれた議会をめざし、鋭意努めてまいりますので、議会に対するより一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

滝川市議会議長

水口典一

議会目録 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

4. 1	第19回厚生常任委員会を開催した。	5. 30	第25回経済建設常任委員会を開催した。
4. 2	第21回総務文教常任委員会を開催した。	5. 30	沖縄県うるま市議会「21世紀の会」一行4名が心の教育推進プランの調査のため、来市した。
4. 3	第30回議会運営委員会を開催した。	5. 31	第23回総務文教常任委員会を開催した。
4. 4	第1回市議会臨時会が開催された。	5. 31	第20回厚生常任委員会を開催した。
4. 4	第31回議会運営委員会を開催した。	6. 6	第32回議会運営委員会を開催した。
4. 11	北広島市議会「日本共産党」会派所属議員1名が住み替え支援補助制度の調査のため、来市した。	6. 12	第2回市議会定例会が開催され、本会議をインターネットで配信した。
4. 18	東京都町田市議会「建設常任委員会」一行11名がメガソーラー誘致、リサイクルクリーンの調査のため、来市した。	6. 12	第33回議会運営委員会を開催した。
5. 8	徳島県阿南市議会「定住促進対策特別委員会」一行16名が定住促進対策の調査のため、来市した。	6. 12	第10回議会改革特別委員会を開催した。
5. 14	第24回経済建設常任委員会を開催した。	6. 17	第24回総務文教常任委員会を開催した。
5. 15	第22回総務文教常任委員会を開催した。	6. 18	第34回議会運営委員会を開催した。
5. 15	東京都葛飾区議会「建設環境委員会」一行13名が空き家等の適正管理の調査のため、来市した。	6. 20	第35回議会運営委員会を開催した。
5. 16	滝川市社会福祉事業団の運営状況確認のため、厚生常任委員会委員等議員13名が視察調査を行った。	6. 20	第11回議会改革特別委員会を開催した。
		6. 21	第21回厚生常任委員会を開催した。
		6. 25	山形県酒田市議会「市民の会・無会派」一行7名が移住・定住促進事業の調査のため、来市した。
		6. 28	第26回経済建設常任委員会を開催した。

編集後記

今定例会からインターネット中継が始まり、本会議場にいる全体的な人にとって緊張感のある議会となりました。

市議会だよりは、本会議場での一部しか伝えられませんが、多くの皆さんに読んでいただけるよう編集努力を続けてまいります。

■たきかわ市議会だより編集委員会

委員長 窪之内美知代
副委員長 渡邊 龍之
委員 三上 裕久
清水 雅人

発行責任者 滝川市議会議長

水口典一

傍聴してみませんか

平成25年第3回滝川市議会定例会の開催予定日をお知らせします。

日程

9月10日(火)	本会議	
9月11日(水)	本会議	
9月24日(火)	本会議	一般質問
9月25日(水)	本会議	一般質問
9月26日(木)	本会議	一般質問等

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認して下さい。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048